

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期府中市地方創生応援税制推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県府中市

3 地域再生計画の区域

広島県府中市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口（国勢調査）は昭和45（1970）年の58,364人をピークに減少傾向が続いており、令和2（2020）年は37,655人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所の人口推計においても、今後も減少傾向が続くと推計されており、令和42（2060）年には20,000人を下回ると予測されている。

総人口に占める年齢3区分別（年少人口、生産年齢人口、老年人口）の割合の推移をみると、昭和55（1980）年はそれぞれ23.1%、65.3%、11.6%であるのに対し、令和2（2020）年は10.4%、51.3%、38.2%となっており、少子高齢化が進行していることがわかる。

本市の平成17（2005）年以降の自然動態をみると、出生数は平成18（2006）年の339人をピークに減少し、令和2（2020）年には167人となっている。一方、死亡数も平成24（2012）年の653人をピークに減少しているが、平成29（2017）年以降は横ばいとなっている。令和2（2020）年の死亡数は564人で、▲397人の自然減となっている。

同じく平成17（2005）年以降の社会動態をみると、転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いており、令和2（2020）年は転出数が▲1,525人、転入数が1,128人で▲397人の社会減となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域経済の規模の縮小、地域コミュニティの崩壊、社会生活基盤の劣化などの影響が生じるものと考えられる。

本市の人口減少を克服するため、国の地方創生の動きを好機として捉え、本市においても、国の目指す「まち・ひと・しごと」の好循環を着実に生み出すことができるよう、事業を戦略的に取り組んでいく必要がある。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標1 産業の活性化 ～官民一体で未来につなげる地域産業～
- ・基本目標2 子育て・教育の充実 ～オール府中の子育て・教育によるウェルビーイングの実現～
- ・基本目標3 まちの魅力向上 ～地域の資源を活かした住みよい地域づくり～
- ・基本目標4 暮らしやすさ ～地域がつながり支え合う、安心して暮らせる環境づくり～

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	多様な人材活躍実践企業 認定制度の新規認定企業 数	14社	20社	基本目標1
ア	計画期間中、見本市への 支援事業を活用して出展 した見本市での商談件数	—	通算3,000件	基本目標1
ア	産学官連携希望を市に申 し出た事業者数	2件	10件	基本目標1
ア	支援事業の活用を通じて 農業販売額が増加した件 数	3件	6件	基本目標1
イ	①府中市での子育てに満 足している割合	50%	70%	基本目標2
イ	②全国学力・学習状況調	小国 67% (全	全国平均以上	基本目標2

	査における平均正答率	国 66.8%) 小算 59% (全 国 58%) 中国 52% (全 国 54.3%) 中数42% (全 国48.3%)		
イ	生涯学習大学(仮称)で実 施しているプログラム(講 座)に満足している割合	—	70%	基本目標 2
イ	相談したり、悩みを話す ことのできる人がいる割 合	84%	89%	基本目標 2
ウ	駅周辺の公共施設の利用 者数※	519,467人	626,587人	基本目標 3
ウ	観光消費額	1,364百万円	1,473百万円	基本目標 3
ウ	スポーツ施設の利用者数	270,596人	330,000人	基本目標 3
ウ	ふるさと納税額(企業版 含む)	2億337万円	4億円	基本目標 3
エ	重層的支援会議の開催回 数	—	4回	基本目標 4
エ	特定健診受診率	36%	45%	基本目標 4
エ	市内の医療機関に従事す る医師数	59名	59名	基本目標 4
エ	マイ・タイムラインを 作成している自主防災組織 の割合	37%	60%	基本目標 4
エ	CSRマッチング支援件数	15件	30件	基本目標 4

エ	ぐるっとバス、おたっし ゃ号の平均利用者数（1日 あたり）	ぐるっとバ ス：3.33人 おたっし ゃ号：1.26人	ぐるっとバ ス：4.0人以上 おたっし ゃ号 ：1.5人以上	基本目標4
---	-------------------------------------	--------------------------------------	--	-------

※本数値目標における駅周辺の公共施設は、こどもの国ポムポム、i-coreFUCHU、道の駅びんご府中、SPINGLE ウェルネスセンターgym&swimming を指す。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

府中市地方創生応援税制推進事業

- ア 官民一体で地域産業を未来につなげる事業
- イ オール府中の子育て・教育によりウェルビーイングを実現する事業
- ウ 地域の資源を活かした住みよい地域づくり事業
- エ 地域がつながり支え合う、安心して暮らせる地域づくり事業

② 事業の内容

ア 官民一体で地域産業を未来につなげる事業

生産年齢人口の減少に対応するため、製造業・サービス業・小売業など、多様な業種の事業者が共通して抱える課題である人材不足への支援を行い、府中市の活力を維持する。具体的には、働きやすい環境を整備した事業者に対するPR支援や事業者と学生等との接点を創出する取組、生産性向上（業務効率化）への支援を行う。さらに、事業環境の変化に対応し、新たな販路を開拓するための支援も実施する。また、これらの支援においては、産学官が連携した環境を基盤として取り組む。

農業分野においては、喫緊の課題である農業従事者（担い手）の減少

への対策を講じ、農業のスマート化（省力化、軽労化、高生産性）による既存農家への営農継続支援や、農業の6次産業化支援による収益力の向上を図る。また、新規就農者をはじめとする多様な担い手の確保を進め、“府中市での農業”のプレゼンスを高め、持続可能な農業の実現を目指す。

【具体的な事業】

- ・企業の人材確保への支援
- ・中小企業等の基盤強化
- ・産学官連携
- ・農業のスマート化、6次産業化支援 等

イ オール府中の子育て・教育によりウェルビーイングを実現する事業

子育て分野では、府中市に住む子育て世代が安心して妊娠・出産・子育てに取り組めるよう、各ステージに応じた支援を提供する。また、すべてのこども・若者とその保護者が心身ともに健やかに成長し、安心して生活を送ることができる環境を整備し、「どんな人でも尊重される、夢を実現できる、挑戦を応援してくれるまち」を目指す。こどもや若者のウェルビーイング実現に向けて、誰ひとり取り残さないオール府中の子育て・子育ての取り組みを推進する。

教育分野では、府中市の児童生徒が主体的に学び、未来に挑戦できる力を育むことを目指し、自律した学びを通じて「学力」や「学びに向かう意欲」を向上させるとともに、多様な他者と協働し新たな価値を創造する力を育成する。また、市民一人ひとりが生涯にわたり主体的に学び続け、自己実現や社会参画が可能となるよう支援する。さらに、すべての子どもの権利を尊重し、その保障・擁護に努める環境づくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・ライフステージに応じた子育て支援
- ・教育環境の充実
- ・こども・若者のセーフティネット 等

ウ 地域の資源を活かした住みよい地域づくり事業

府中市では、まちの中心的存在である JR 府中駅の整備を進めるとともに、駅周辺に位置する公共施設の活用を促進し、来街者や駅近くの住宅地に住む人々が気軽に足を運べる環境を整備することで、まちのにぎわいを創出する。

観光分野では、拡大するインバウンド需要を市内で効率的に取り込み、市内各地域を訪れる観光客が他地域にも足を運べる仕組みを検討するとともに、持続可能な観光推進を目指し、県が実施する宿泊税の活用も含めた効果的な取り組みを模索する。

スポーツ分野では、市民の健康増進に寄与するだけでなく、スポーツ活動を通じて「まちづくり」や「地域振興」を図る取組を展開する。スポーツと多分野との連携を活用し、交流人口の拡大や地域コミュニティの形成を目指す。

さらに、多様な担い手が活躍できるまちの実現に向け、移住定住の受入促進、関係人口の創出および持続的な活躍を促進する取組を推進する。併せて、政府が掲げる制度を活用し、関係人口の「見える化」に取り組む。

【具体的な事業】

- ・府中駅を中心とする新たなまちの魅力
- ・地域の資源を活かした観光の推進
- ・スポーツによる地域のにぎわい創出
- ・活躍できるまちの実現に向けた移住定住の受入促進・関係人口の創出等

エ 地域がつながり支え合う、安心して暮らせる環境づくり事業

地域住民、行政、市民団体、事業者などが協働し、それぞれの役割を發揮しながら支え合える「地域共生社会」の実現を目指し、「共助」の仕組みづくりや地域福祉コミュニティの活性化、そして多様な主体間での横断的な連携を推進する。

健康寿命の延伸を目指し、多様化・複雑化する住民の健康課題に対応するため、市民が自ら規則的な生活習慣や運動習慣を定着させられるよう支援するとともに、高齢化に伴う介護リスクを抑制し、介護人材の確

保を図る。持続可能な介護体制の構築にも取り組む。

医療分野では、将来にわたって安定した医療サービスを提供するため、医師や医療機関の確保をはじめとした医療提供体制の維持・確保に努める。併せて、市内で完結できない医療については、圏域の市町と連携し、二次医療圏域内での医療提供体制の整備を目指す。

防災分野では、市民が自ら身を守る「自助」の精神と、地域で支え合う「共助」の精神を醸成するため、地域防災力や災害対応力を高める取組を推進する。また、激甚化する風水害をはじめとする自然災害への備えを充実させ、市民が安心して暮らせる街づくりを進める。

地域課題が日々多様化・深刻化する中で、行政や町内会のみならず、企業や学生など多様な主体が連携し、相互に補完・協力する体制を構築し、時代のニーズに応じたまちづくりに取り組む。

公共交通機関の整備においては、地域での生活に応じた実効性の高い利用促進策を推進し、「誰もが安心して快適に移動できる公共交通の確保」と「持続可能な地域公共交通」の実現を目指す。

【具体的な事業】

- ・地域共生社会の実現
- ・健康づくりの推進
- ・持続可能な医療サービス
- ・防災・災害対応・地域協働 等

※なお、詳細は府中市デジタル田園都市国家構想総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,600,000 千円（令和8年度～11年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

庁内体制において、専門的な知識を有する者や学識経験者等の意見を伺いながら、毎年度必要な見直し等を実施する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで